

キャンパス移転に伴う教職員の居住に関するアンケート結果

2005年7月

九州大学新キャンパス計画推進室

キャンパス移転に伴う教職員の居住に関するアンケート

以下のアンケートに記載して、平成17年6月5日(日)までにホームページ上でご回答ください。なお、回答された内容は、統計処理してホームページ等で公開して使用しますが、個人を特定することはありません。

■ あなたの所属等についてお伺いします。

問1. 所属はどちらですか。(各研究院には、当該学部等事務部を含みます)。

- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| <input type="radio"/> 人文科学研究院 | <input type="radio"/> 比較社会文化研究院 | <input type="radio"/> 人間環境学研究院 | <input type="radio"/> 法学研究院 |
| <input type="radio"/> 経済学研究院 | <input type="radio"/> 言語文化研究院 | <input type="radio"/> 理学研究院 | <input type="radio"/> 数理学研究院 |
| <input type="radio"/> 工学研究院 | <input type="radio"/> システム情報科学研究院 | <input type="radio"/> 農学研究院 | <input type="radio"/> 附属図書館 |
| <input type="radio"/> 六本松地区事務部 | <input type="radio"/> 本部事務局 | <input type="radio"/> 情報基盤センター | |
| <input type="radio"/> その他 | | | |

問2. 職種は何ですか。

- 教授 助教授 講師 助手 事務職員 技術職員

問3. 性別はどちらですか。

- 男性 女性

問4. 何歳ですか。

- 20代 30代 40代 50代 60代以上

問5. 現在のお住まいはどこですか。

- | | | | | | | |
|---------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| <input type="radio"/> 東区 | <input type="radio"/> 博多区 | <input type="radio"/> 中央区 | <input type="radio"/> 南区 | <input type="radio"/> 城南区 | <input type="radio"/> 早良区 | <input type="radio"/> 西区 |
| <input type="radio"/> 前原市 | <input type="radio"/> 志摩町 | <input type="radio"/> 二丈町 | <input type="radio"/> 糟屋郡 | <input type="radio"/> 古賀市 | <input type="radio"/> 福津市 | <input type="radio"/> 宗像市 |
| <input type="radio"/> 春日市 | <input type="radio"/> 大野城市 | <input type="radio"/> 太宰府市 | <input type="radio"/> 筑紫野市 | <input type="radio"/> その他 | | |

問6. 現在のお住まいは次のどれでしょうか。

- | | | |
|--|---|----------------------------|
| <input type="radio"/> 戸建て住宅(持ち家) | <input type="radio"/> 戸建て住宅(借家) | |
| <input type="radio"/> マンション・アパートタイプ(持ち家) | <input type="radio"/> マンション・アパートタイプ(借家) | |
| <input type="radio"/> 公務員宿舎 | <input type="radio"/> 公団住宅 | <input type="radio"/> 公営住宅 |
| <input type="radio"/> その他 | | |

↓

問7. 設問6.で(借家)と回答された方は、家賃月額はいくらですか。

家賃月額 万円

問8. 世帯構成(世帯人数)をお答えください。

- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> 単身(1人) | <input type="radio"/> 夫婦(2人) | <input type="radio"/> 夫婦+子供1人(3人) | <input type="radio"/> 夫婦+子供2人(4人) |
| <input type="radio"/> 夫婦+子供3人以上(5人以上) | <input type="radio"/> 夫婦+親と同居 | <input type="radio"/> 3世代同居(親+夫婦+子供) | |
| <input type="radio"/> その他(具体的に) | | | |

問9. 現在、住居から大学までの通勤に際し、主としてどのような交通手段を利用していますか。(複数選択)

- | | | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 電車・地下鉄 | <input type="checkbox"/> バス | <input type="checkbox"/> 自動車 | <input type="checkbox"/> バイク | <input type="checkbox"/> 自転車 | <input type="checkbox"/> 徒歩 |
| <input type="checkbox"/> その他 | | | | | |

■ キャンパス移転に関連してお伺いします。

問10. キャンパス移転に伴って、ご自分の部局が新キャンパス（伊都キャンパス）へ移ったとき、周辺の地域へ住み替えますか。

住み替えない → 問11へ進んでください

住み替える → 問12へ進んでください

■ 問10において「住み替えない」と答えた方にお伺いします。

問11. 住み替えないと答えた理由は何ですか。

新キャンパス周辺地域に住んでいるため

自宅（持ち家）のため

通ってみてから判断しようと思うため

家族の通勤・通学を優先するため

その他

→ 問21へ進んでください

■ 問10において「住み替える」と答えた方にお伺いします。

問12. 転居時期はいつ頃をお考えですか。最も近いと思われる時期をお答え下さい。（参考資料「[移転スケジュール](#)」）

平成17年10月まで

平成17年11月～平成18年4月

平成18年5月～平成18年10月

平成18年11月～平成19年4月

平成19年5月～平成19年10月

その他（平成 年頃）

問13. 今の時点で、どのあたりに転居をお考えですか。参考資料「[居住地域について](#)」を参照の上、お答えください。

今宿・新駅（九大学研都市駅）・周船寺地区

前原市街地

志摩町市街地

西区姪浜周辺

早良区西新周辺

糸島半島内の住宅

その他（地名： _____ ）

問14. 転居先を決定する際に特に重視するのはどのようなことですか。2つ選んでお答えください。

家賃または物件購入費

子供の教育環境が充実していること

自然環境が豊かであること

買い物に便利であること

大学までの距離が近いこと

駅やバス停までの距離が近いこと

天神等の都心までの距離が近いこと

公園や運動場との距離が近いこと

その他

問15. 住居から大学までの通勤に際し、主としてどのような交通手段の利用をお考えですか。（複数選択可）

電車・地下鉄

バス

自動車

バイク

自転車

徒歩

その他

問16. 転居する場合、住宅はどの形態を希望しますか。

戸建て住宅（持ち家）

戸建て住宅（借家）

マンション・アパートタイプ（持ち家）

マンション・アパートタイプ（借家）

大学の宿舎

公営住宅

その他

問17. 広さはどの程度を希望しますか。

- ワンルーム (26~32㎡程度)
 1DK (38~42㎡程度)
 2LDK (50~55㎡程度)
 3LDK (60~70㎡程度)
 4LDK (75~85㎡程度)
 5LDK (90~100㎡程度)
 その他

問18. 設問16で「借家」と答えた方は、家賃を月額どの程度でお考えですか。

- ~5万円
 5~6万円
 7~8万円
 9~10万円
 その他 (_____ 万円程度)

問19. 設問16で「持ち家」と答えた方は、土地建物の購入費用をどの程度でお考えですか。

- ~999万円
 1,000万円~1,499万円
 1,500万円~1,999万円
 2,000万円~2,499万円
 2,500万円~2,999万円
 3,000万円~3,499万円
 3,500万円~3,999万円
 4,000万円~5,000万円
 その他

問20. 住宅を検討するうえで、是非必要と思われる設備等はなんですか。2つをお選びください。

- 駐車場
 通信環境
 書庫
 家庭菜園
 その他

■大学キャンパス移転に関するご意見

問21. 新キャンパス（伊都キャンパス）周辺に建設される住居に関して、ご意見、ご要望があればご自由にご記入ください。(300字以内)

回答が終了した方は、最後に下記のボタンを押してください。
 (データ転送に多少時間がかかる場合があります。)

データの転送

アンケートの概要

調査対象

平成 17 年現在、九州大学に勤める伊都キャンパス移転対象部局の教職員

調査期間

平成 17 年 5 月 16 日～平成 17 年 6 月 5 日

調査方法

ホームページ上での無記名アンケート調査。

回答者

総数 461 名

・アンケート内容

身分・所属等に関する質問

1. 学年
2. 職種
3. 性別
4. 年齢
5. 住所
6. 住居形態
7. 家賃月額
8. 世帯構成
9. 通勤手段

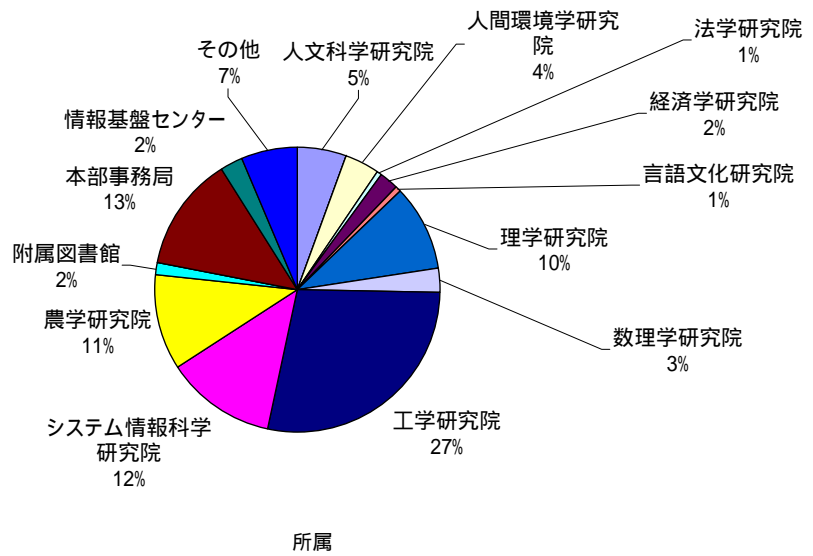
キャンパス移転に伴う、希望・計画に関する質問

10. キャンパス移転に伴って、周辺の地域へ住み替えますか。
11. 「住み替えない」と回答された方について、その理由は。
12. 「住み替える」と回答された方について、転居時期は。
13. 転居予定場所は。
14. 転居先決定の際に重要視することは。
15. 希望する交通手段
16. 希望する住宅形態
17. 希望する広さ
18. 設問 16 で「借家」と回答された方について、希望する家賃月額
19. 設問 16 で「持ち家」と答えた方について、希望する土地建物の購入費用
20. 住宅を検討する上で、是非必要と思われる設備

問1. 所属

所属	
人文科学研究院	25
比較社会文化研究院	1
人間環境学研究院	17
法学研究院	3
経済学研究院	10
言語文化研究院	3
理学研究院	45
数理学研究院	13
工学研究院	129
システム情報科学研究院	58
農学研究院	49
附属図書館	7
六本松地区事務局	0
本部事務局	60
情報基盤センター	11
その他	30
合計	461

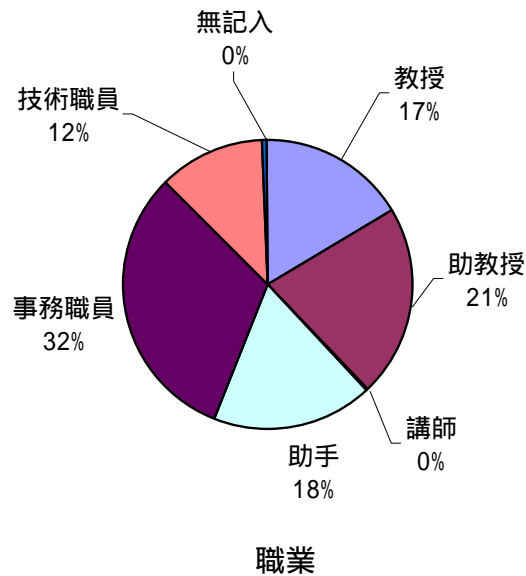
(単位:人)



問2. 職種

職業	
教授	77
助教授	97
講師	2
助手	81
事務職員	146
技術職員	56
無記入	2
合計	461

(単位:人)

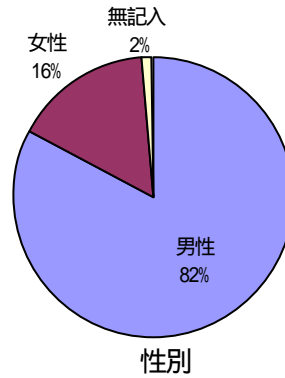


問3. 性別

男女別割合は男性が82%、女性が16%である。

性別	
男性	381
女性	73
無記入	7
合計	461

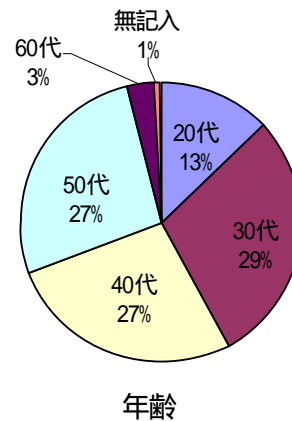
(単位:人)



問4. 年齢

年齢	
20代	60
30代	133
40代	126
50代	124
60代	14
無記入	4
合計	461

(単位:人)

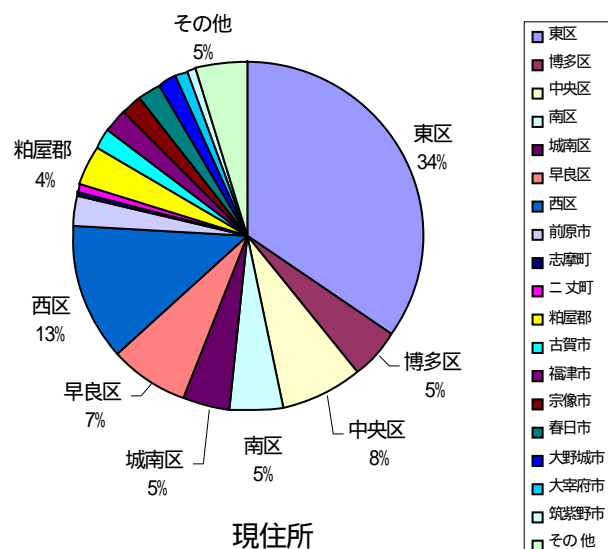


問5. 現在の住まい

東区に住む人が34%と最も多く、西区、中央区、早良区と続いている。
(13%)(8%)(7%)

現住所	
東区	159
博多区	21
中央区	35
南区	22
城南区	21
早良区	33
西区	59
前原市	13
志摩町	1
二丈町	3
粕屋郡	17
古賀市	9
福津市	10
宗像市	9
春日市	11
大野城市	7
大宰府市	5
筑紫野市	4
その他	22
合計	461

(単位:人)

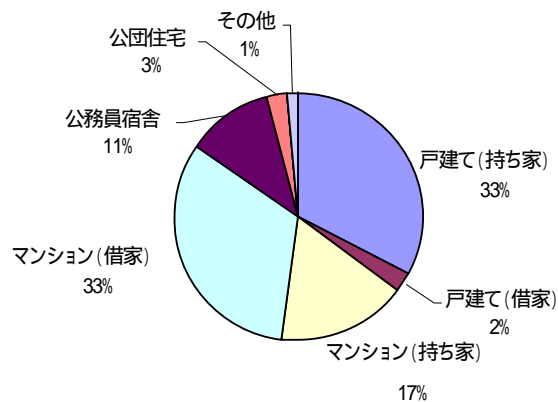


問6．現在の住まいのタイプ

戸建て（持ち家） マンション（借家）がともに33%と最も多い。

住まいのタイプ	
戸建て(持ち家)	151
戸建て(借)	11
マンション(持ち家)	77
マンション(借家)	151
公務員宿舎	52
公団住宅	12
公営住宅	1
その他	6
合計	461

(単位：人)



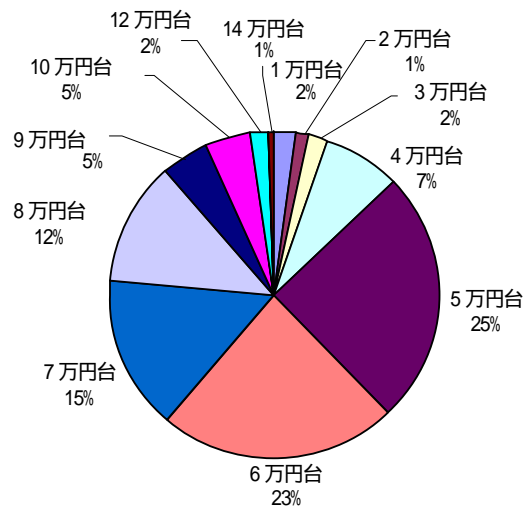
現在の住まいのタイプ

問7．問6で借家と答えた方の家賃月額

5万円台、6万円台がそれぞれ約25%となり高い割合を示した。全体の平均値は6.4万円であった。

借家に希望する月額	
1万円～	4
2万円～	2
3万円～	4
4万円～	13
5万円～	44
6万円～	41
7万円～	27
8万円～	22
9万円～	8
10万円～	8
11万円～	0
12万円～	3
13万円～	0
14万円～	1
合計	177

(単位：人)



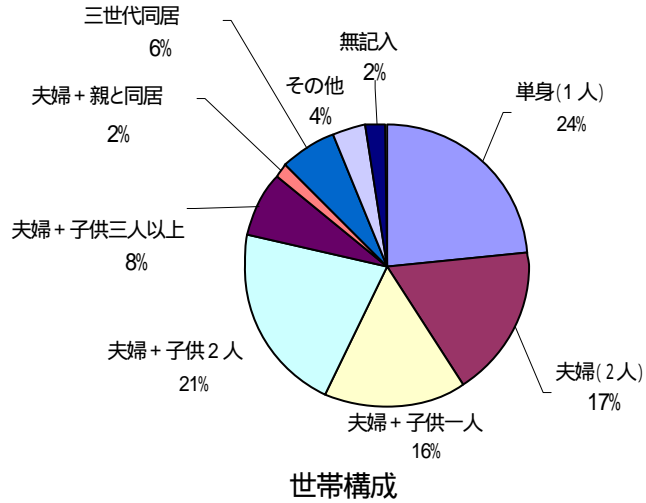
希望する家賃(月額)

問 8 . 世帯構成

単身の割合が最も多く、全体の 24%を占めているが、世帯構成は多様である。

世帯構成	
単身(一人)	108
夫婦(二人)	80
夫婦+子供一人	74
夫婦+子供2人	99
夫婦+子供三人以上	35
夫婦+親と同居	8
三世帯同居	29
その他	18
無記入	10
合計	461

(単位:人)

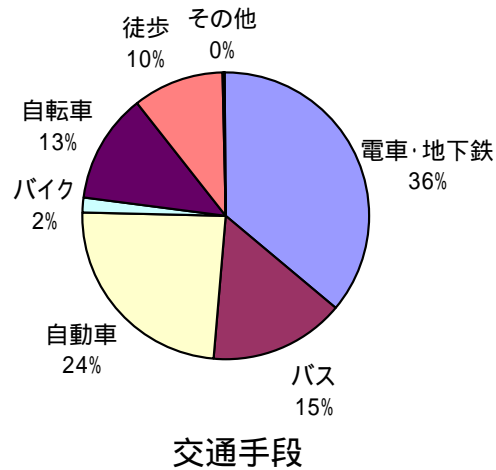


問 9 . 現在の大学までの主な交通手段 (複数回答可)

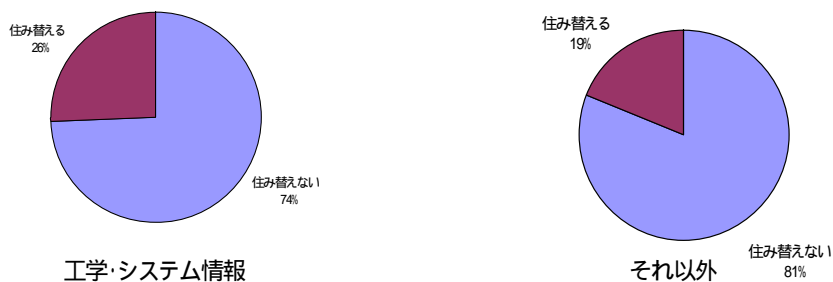
電車・地下鉄が 36%と最も高く、自動車、バス、自転車、徒歩と続いている。
(24%)(15%)(13%)(10%)

交通手段	
電車・地下鉄	221
バス	91
自動車	147
バイク	10
自転車	77
徒歩	62
その他	2

(単位:人)



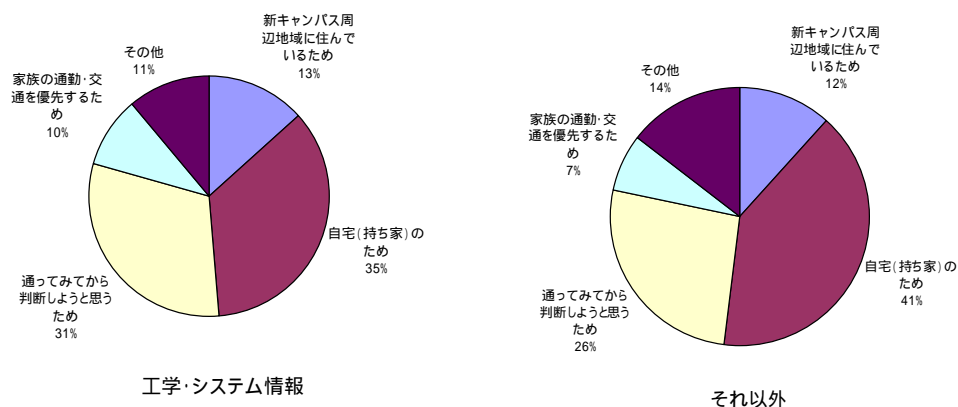
問 10 . キャンパス移転に伴って周辺地区への住み替えを行うか。



周辺地区への住み替えを行うか	工学・システム情報	それ以外	合計(単位:人)
住み替えない	132	214	346
住み替える	46	50	96
合計(単位:人)	178	264	442

問 10 において「住み替えない」と答えた方に関して

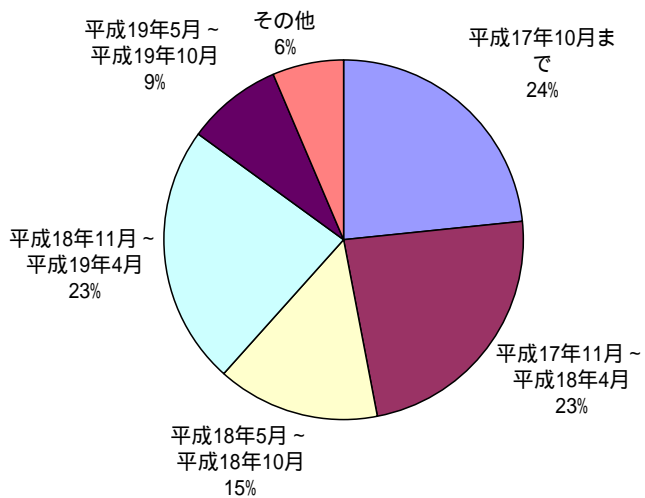
問 11 . 住み替えない理由について



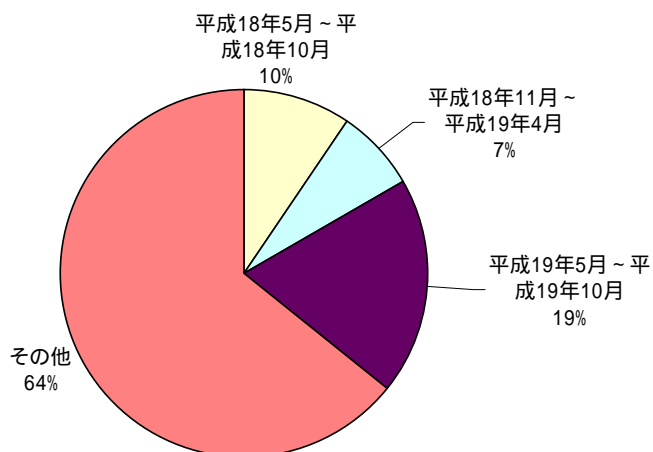
住み替えないと答えた理由	工学・システム情報	それ以外	合計(単位:人)
新キャンパス周辺地域に住んでいるため	18	26	44
自宅(持ち家)のため	48	89	137
通ってみてから判断しようと思うため	42	58	100
家族の通勤・交通を優先するため	13	16	29
その他	15	32	47
合計(単位:人)	136	221	357

問 10 において「住み替える」と答えた方に関して

問 12 . 希望する転居時期



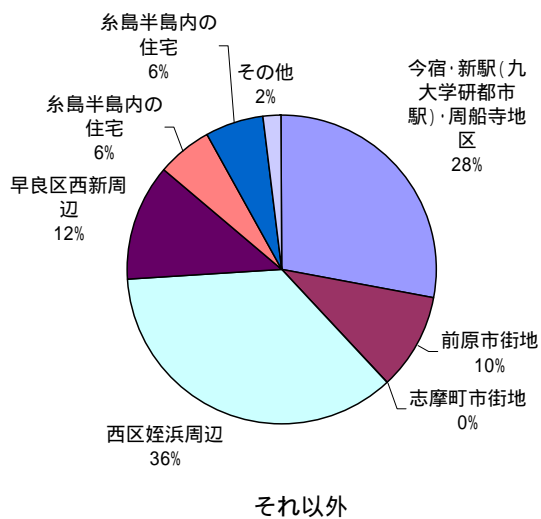
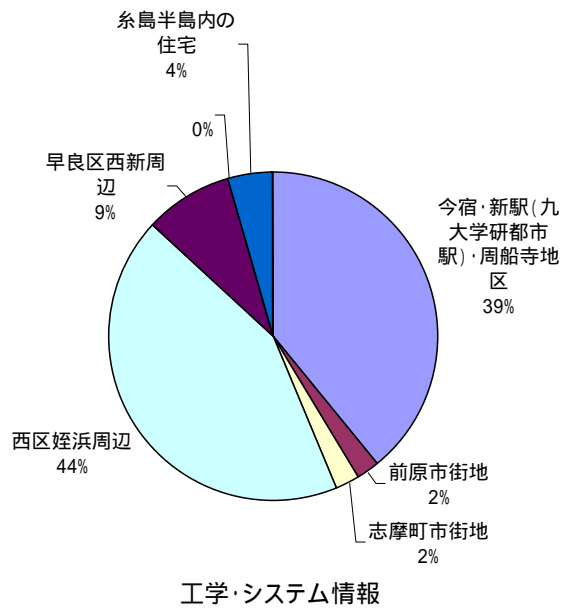
工学・システム情報



それ以外

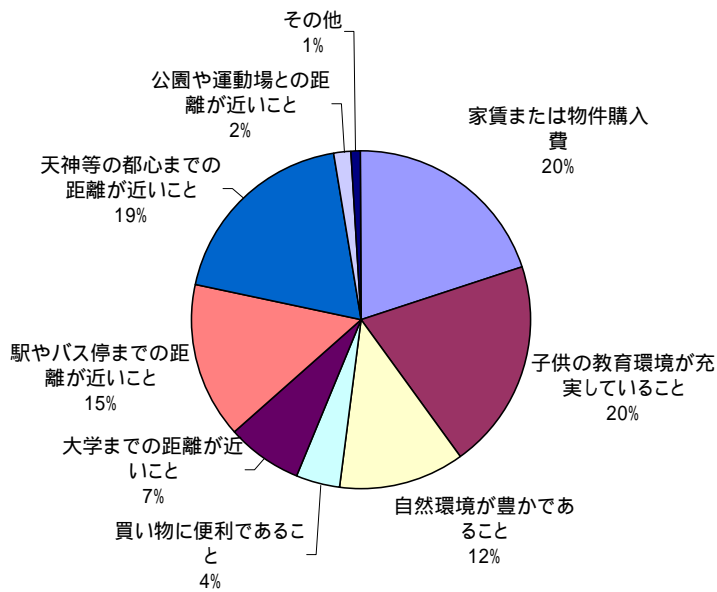
転居時期	工学・システム情報	それ以外	合計(単位:人)
平成17年10月まで	11	0	11
平成17年11月～平成18年4月	11	0	11
平成18年5月～平成18年10月	7	4	11
平成18年11月～平成19年4月	11	3	14
平成19年5月～平成19年10月	4	8	10
その他	3	27	30
合計(単位:人)	47	42	89

問 13 . 希望する転居地

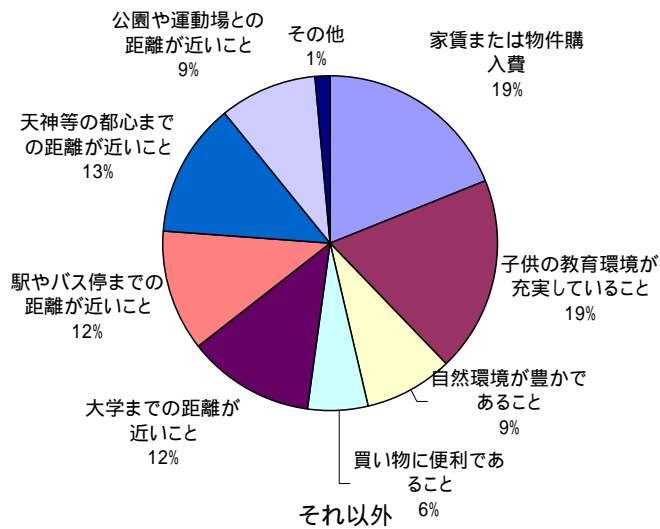


希望する転居地	工学・システム情報	それ以外	合計(単位:人)
今宿・新駅(九大学研都市駅)・周船寺地区	18	14	32
前原市街地	1	5	6
志摩町市街地	1	0	1
西区姪浜周辺	20	18	38
早良区西新周辺	4	6	10
糸島半島内の住宅	0	3	3
糸島半島内の住宅	2	3	5
その他	0	1	1
合計(単位:人)	46	50	96

問 14 . 転居先決定の際に特に重要視すること



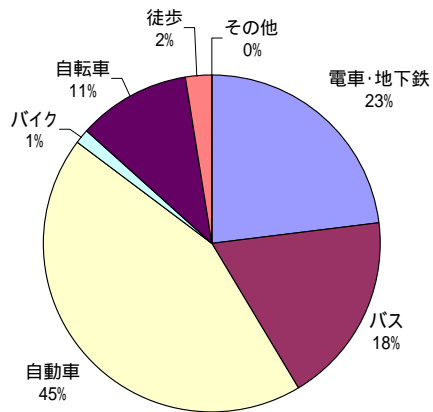
工学・システム情報



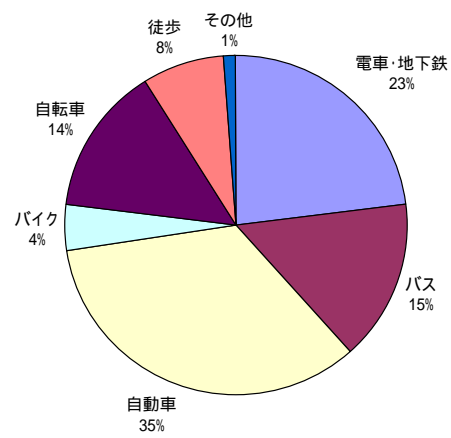
それ以外

転居決定の際に重要視すること	工学・システム情報	それ以外	合計(単位:人)
家賃または物件購入費	25	26	51
子供の教育環境が充実していること	25	26	51
自然環境が豊かであること	15	12	27
買い物に便利であること	5	8	13
大学までの距離が近いこと	9	17	26
駅やバス停までの距離が近いこと	19	16	35
天神等の都心までの距離が近いこと	24	18	42
公園や運動場との距離が近いこと	2	13	15
その他	1	2	3
合計(単位:人)	125	138	263

問 15 . 大学までの通勤に利用したい交通手段



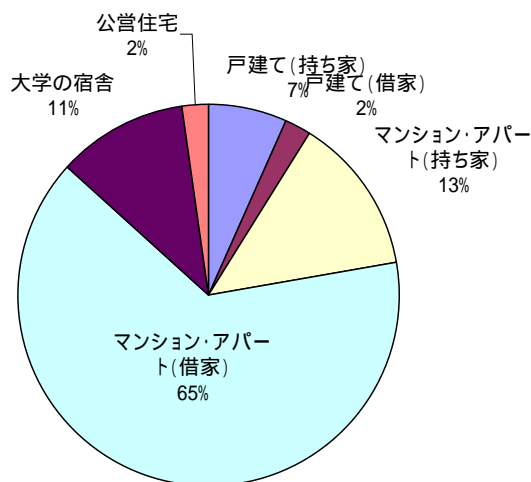
工学・システム情報



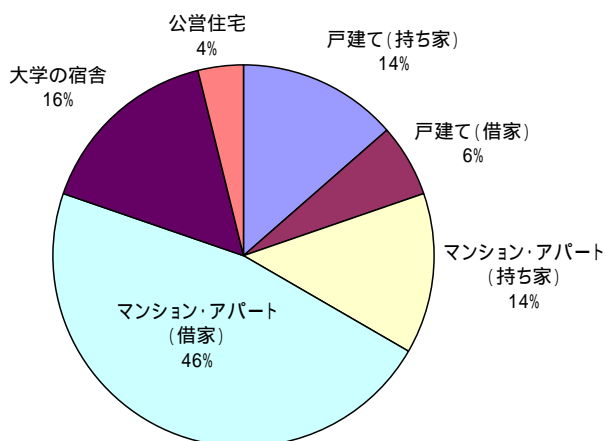
それ以外

通勤に利用したい交通手段	工学・システム情報	それ以外	合計(単位:人)
電車・地下鉄	19	21	40
バス	15	14	29
自動車	36	31	67
バイク	1	4	5
自転車	9	13	22
徒歩	2	7	9
その他	0	1	1
合計(単位:人)	82	91	173

問 16 . 転居する際に希望する住宅形態



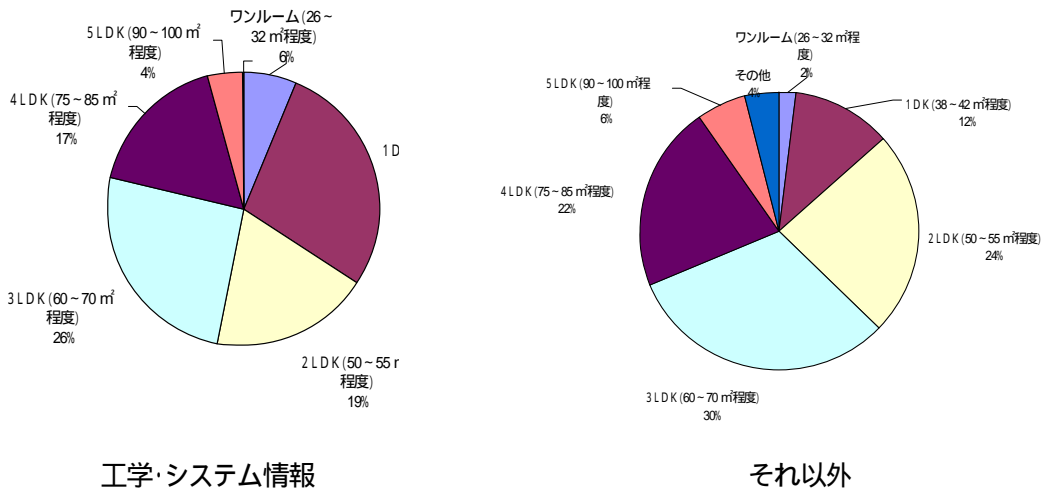
工学・システム情報



それ以外

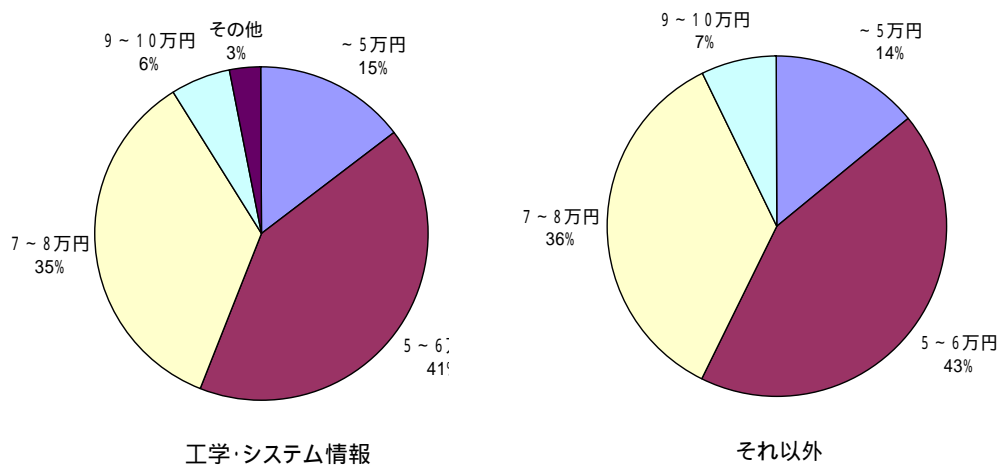
希望する住宅形態	工学・システム情報	それ以外	合計(単位:人)
戸建て(持ち家)	3	7	10
戸建て(借家)	1	3	4
マンション・アパート(持ち家)	6	7	13
マンション・アパート(借家)	29	24	53
大学の宿舎	5	8	13
公営住宅	1	2	3
合計(単位:人)	45	51	96

問 17 . 希望する住宅の広さ



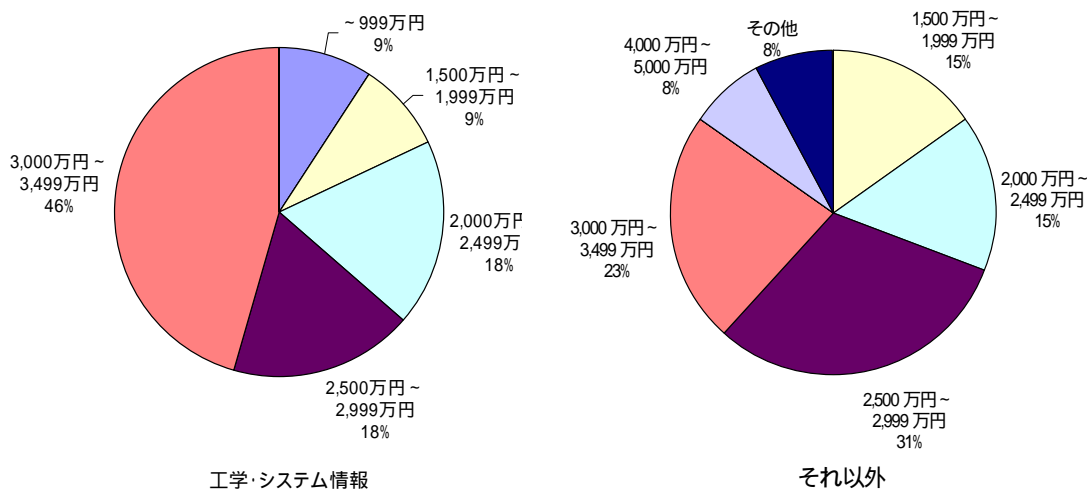
希望する住宅の広さ	工学・システム情報	それ以外	合計(単位:人)
ワンルーム(26~32㎡程度)	3	1	4
1DK(38~42㎡程度)	13	6	19
2LDK(50~55㎡程度)	9	12	21
3LDK(60~70㎡程度)	12	16	28
4LDK(75~85㎡程度)	8	11	19
5LDK(90~100㎡程度)	2	3	5
その他		2	2
合計(単位:人)	47	51	98

問 18 . 希望する借家の家賃 (設問 16 で「借家」と答えた方)



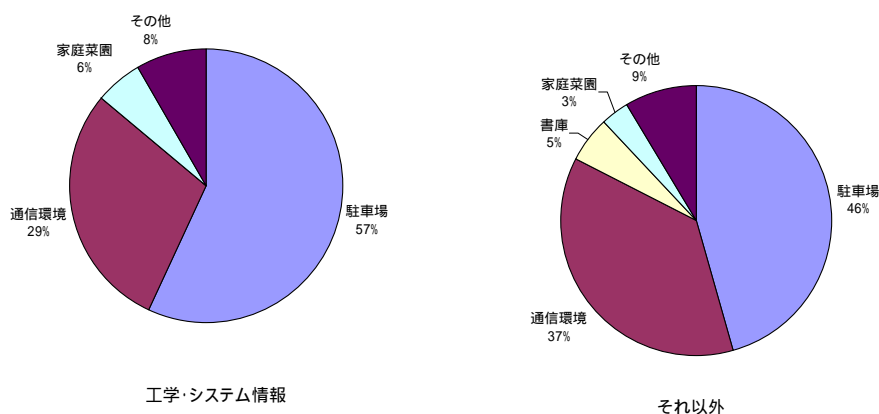
希望する借家の家賃	工学・システム情報	それ以外	合計(単位:人)
~5万円	5	4	9
5~6万円	14	12	26
7~8万円	12	10	22
9~10万円	2	2	4
その他	1	2	3
合計(単位:人)	34	30	64

問 19 . 希望する土地建物の購入費用（設問 16 で「持ち家」と答えた方）



土地建物の購入費用	工学・システム情報	それ以外	合計(単位:人)
~ 999万円	1	0	1
1,000万円 ~ 1,499万円	0	0	0
1,500万円 ~ 1,999万円	1	2	3
2,000万円 ~ 2,499万円	2	2	4
2,500万円 ~ 2,999万円	2	4	6
3,000万円 ~ 3,499万円	5	3	8
3,500万円 ~ 3,999万円	0	0	0
4,000万円 ~ 5,000万円	0	1	1
その他	0	1	1
合計(単位:人)	11	13	24

問 20 . 住宅購入を検討する上で、是非必要と思われる設備



必要と考える設備	工学・システム情報	それ以外	合計(単位:人)
駐車場	41	42	83
通信環境	21	34	55
書庫	0	5	5
家庭菜園	4	3	7
その他	6	8	14
合計(単位:人)	72	92	164

問 21 . 新キャンパス周辺に建設される住居に関する意見、要望。(自由記述)

* 本設問に直接関係のない回答は除外しています。

新キャンパス周辺には、持ち家はもとより、マンション・アパート等の住居、及び住人の学生・教職員の生活に伴う様々な施設(食堂、喫茶店、コンビニ等)が林立した学生街の発生が予想される。今回の学生街は自然発生的なものでなく、大学のキャンパス移転に伴って新たに政治的に創成されたものであることから、当局者にとっては既に想定済みとは思いますが、これらの施設のバランスを考え、百年後も学園都市として有効に機能する魅力的な学生街、学園都市の計画策定を切に望みます。

伊都キャンパスの部局に異動となった場合は、単身赴任しなければいけないので、格安な単身用宿舎をお願いしたい。遠距離通勤者としては単身用者の住宅がほしい。

急速な都市開発は、地域の文化や経済、自然環境を破壊することにつながります。大学移転は、完全に目的を失った移転計画です。早急に抜本計画の見直しを求めます。出来る限り、小規模移転の計画変更を早めに作り上げ、大学周辺の乱開発を助長しないような配慮が大学として、とるべき態度だと思います。

現在、伊都キャンパス地区は山間の静かな地域ですので、自然との調和をはかるようお願いいたします。高層住宅は避けていただきたい。

現在、箱崎キャンパスの中央食堂前に掲示してある新キャンパス付近のマンションの価格は、新築マンションとはいえ、学生向けのワンルームで6万円強と高く、本アンケートの参考資料等に記載されている予想価格と大きくずれている点が気になります。

現在の住居が持ち家で、家族の生活も考えれば、現状では通勤(通勤時間は片道1.5時間以上か?)を予定している。場合によっては、キャンパス付近での一部単身生活もありうると考えている。このような遠隔地からの通勤通学者が増加すると考えられるため、キャンパス付近に長期・短期可能な宿泊施設の整備も是非検討願いたい。

糸島平野は、気候風土の穏やかな地域であり、長年の弛まぬ農業により自然の豊かさが維持されてきました。また、行政区、隣組など、地域住民の話し合い、役割分担などの協力や合意により、安全で暮らしやすい地域を形成しています。今後も、安全で穏やかに暮らせる生活空間を新住民が形成するためには、居住区域近辺(大学移転地域周辺)には、遊興施設はこのましくありません。また、あまりに高層の住宅も安全とはかけはなれます。形状がビルディングであっても、アクロス福岡のステップガーデンのように、木々を植樹し、緑豊かな建物、地域にして頂きたいものです。地域住民が利用できる文化・体育施設があると、地域の交流に大きな役割を果たすことができます。英知を結集して、整然として無駄な予算を喰わない計画を望んでいます。

住み替えは考えていないが、場合によっては、ウィークデイで仕事の終了が遅くなったときなどのために、新キャンパス周辺に1ルームの部屋を借りることは検討している。

住み替える予定は無いが、例えば帰宅が遅くなった場合(例えば学会の開催等に関連して、明らかに予定されている場合)に、教職員、学生が利用できる宿泊施設があれば便利であると考えます。例えば放送大学の学習センターには同様の施設があります(特殊性があるとしても)。

住居も大事でしょうけど、まずはきちんとした交通整備だと思います。ほとんどの職員が東部にいるのが、天神を通過しないといけないという点。箱崎埠頭から船くらい出すアイデアがないと、とても仕事にならないと思います。

西区の姪浜から今宿あたりの道路は、いつも混雑しているので、市内からの幹線の整備が必要だと思う。

地震に強い住居を造ってほしいです。近くにスーパー、病院、駅などあれば住みやすい。

独身職員の為の、宿舎を用意してはいかがでしょうか？

海外からの留学生や訪問研究者(長期・短期)に対応できる住居も是非作ってほしい。

学生の談によれば、「キャンパスの周辺3kmは市街化調整区域のためアパートの建築は難しく、アパートを借りても、3km以上の通学となる。」とのことですが、これは真実なのでしょうか。公共交通機関の最終に乗り遅れた教職員や学生に対する配慮(仮眠室の設置等)をお願いします。アンケートの通り、市内東区の外れに居を構えている者ですが、単身の寮等(キャンパス内または近郊にある、または建ったとして)を借りることは可能なのでしょうか。

西区は、福岡市の他区と比較しても公営住宅の建設戸数が極めて少ない住環境となっているので、福岡県、福岡市、前原市に公営住宅建設を促進するよう大学として働きかけてほしい。

職員用の単身アパートを設置してもらいたい。2, 仕事で遅くなったときの簡易宿泊施設を設置してもらいたい。3, 交通機関を早期に整備してほしい。

100年の計、夢と希望のあるものを

1車線が多いため、道路の整備などが必要と思う(渋滞緩和のため)

4, 50代の持ち家の先輩方のために、食事付きのマンション(一般の賃貸や官舎より手軽に利用できるタイプ)があるとよいのでは。それがあれば、そのほかの人(自分を含め)も利用できます。管理人をおいてカプセルホテルのように利用可能なものも

あると！

アクセスの比較的良好な公務員住宅（大学の宿舎）を希望。ワンルームでも1DKでも可。できれば車庫付を希望。

ウィークリーマンションやカプセルホテルならば、利用する可能性はある。

キャンパスの直ぐ傍には住宅地として購入できる土地がありません。是非、地元の住民に働きかけて住宅地を増やしてもらいたいと思います。

キャンパス内のバリアフリー化。傾斜があるため、来客用の貸し自転車や小型電気自動車の開発等を考えるべき。また、人文科学研究院の人間としては、生物資源の保護を優先するあまり、人間の立入禁止等を行うのではなく、例えば、生物多様性ゾーンに庵を建て、老荘思想の気分にひたれるような環境を作ったり、日本文化探究のために、畳の教室や茶室を自然の中に溶け込ませる、といったような共生の思想によるキャンパス作りが望まれる。あまりにも自然科学優先的な環境思想は考え物である。

たとえ住宅が建設されても、入居者が九大ばかりなのは、嫌だなあ。

ヒートアイランドを少しでも和らげるように、駐車スペースは「芝生＋プラスチックの押さえ」等、緑を多く取り入れた街づくりを目指してほしい。

まだ大学の引越し日程がはっきりしないので、自宅の引越しの予定が組めません。

安価であってほしいが、安普請で隣の騒音に悩まされるのは勘弁してほしい

移転後、定年までは、2年しかないので、官舎をぜひ利用したい。

移転時期にもよるが、定年まで半年程度の期間が残っているとしたら、週2日～3日仮泊出来る程度の空間を現地近くに用意しようかと考えている。

移転前に退職予定ですが、最寄JR駅からの公共交通機関の充実を希望します。

一昔前の市営住宅のようにあまり冷たい感じのする建物は嫌です。防音などに気を使ってプライベートを保てるようにしてほしいです。また、インターネットができるようなインフラも整備してください。住居にこるだけでなく、買い物に便利（スーパー、コンビニ、本屋、クリーニング）であったり、散歩できるような所（川辺、林、海岸等）が近くにあるとうれしいです。あと住居地の近くに公園があったりするとさらにうれしいです。

引っ越しのための費用は、どの程度補助されるのか知りたい。確かに、財政的にひっ迫していることは理解しているものの、全く無し、というのは、困る。

遠方から通勤する者を対象として、夜遅くなり、帰宅のための交通の便がなくなった場合に、キャンパス近くで比較的安い宿泊所（カプセルホテルのようなもの）があればよい。本来、大学施設として、職員および外来客用に用意して頂くことが最善ですが・・・。

可能な限り、地元住民とのトラブルを避けた建設を望みます。

家計の経済状況から考えても、住み替えはできません。通勤時間から考えても通勤は困難と考えています。自宅からの通勤時間は、公共の交通機関で片道2時間30分、自動車で一般道の場合は3時間です。都市高速道路は料金が高いので通勤での使用は考えていません。新キャンパスから2kmくらいの所で、月額2.5万円以下で家賃の安い部屋があれば部屋を借りることを考えています。週末は自宅へ帰るので、平日の寝泊りができれば十分です。贅沢は言わないので、できるだけ安い部屋が必要です。

家族で引っ越し予定はありませんので、単身で住める（学生不可の）住居を希望します。また、自分の所属部局の移転時だけでなく、全学が移転終了するまで敷金等の優遇を希望します。交通の便がよければ多少遠くても構いません。

学生ならともかく、教職員の場合、キャンパス近くに住む必要性は感じない。むしろ、居住環境、利便性を重視する。学生の場合でも、不便なところ（交通の便）に住む希望があるとは思えない。

学生にとってはキャンパス周辺にちょっとした娯楽施設が必要です。例えば居酒屋、パチンコ屋、雀荘、その他

学生のためのアパートを増やして欲しい。過剰な設備は必要ないので、家賃を抑えたほうが学生のニーズにあうと思います（4万円前半まで？）

学生の住居対策をよろしくお願ひいたします。

学生向けには敷金無しの物件が生協で紹介されていました。職員向けにも敷金無しの物件を作ってほしい。職員の引越しも個人都合ではなく大学都合になるので、引越し代まで出していただけるとベストですが。民間企業での通勤等は引越し代まで支給されます。

関西・関東を問わず中心部への回帰が起こっている時期に、しかも完全な意味での統合キャンパスが実現する見込みもないのに、不便で、大学を支える文化的基盤もない場所に移転する意図が十分に理解できません。

教員については、職場異動（他大学への異動）が大いに考えられ、したがって持ち家を購入するにはハードルが高い。したがって、大学教員を中心とした昔で言うところの官舎があるとありがたい。

教職員よりも学生の居住地としての整備を、最優先すべきです。教職員へのアンケートも重要ですが、それ以上に大学の最重要員である学生への徹底的なアンケート、意見集約が必要です。

九州大学の宿舎を完備してもらいたい

計画的な開発と、急に高層化したものがバラバラにたたないような町づくりを望みます。また、あまり関係ないのですが品のない

大型店舗（JU CO）が地元企業、ネットワークを破壊することのないように希望します。地方都市の多くはこれでさびれていった訳で...

建設するのであれば、電車の駅の近くで、広い敷地を持つものが良いです。また、耐震設計や台風などには十分気を付けた安全性の高い物が望まれます。

建設地域におけるスーパーなどの生活インフラのしっかりした拡充が必要不可欠だと思います。

元岡地区への移転時期が確定してないので、居住地について考えることが困難である。理学研究院の移転時期は平成26年になってはいるが、その通りに移転することは、財政的に、ほとんどありえないと思われる。私は、今は、六本松地区にいますが、平成20年か21年には、箱崎へ移転する。六本松地区が箱崎に移転すれば、理学研究院の統合は達成できたものと思われる。元岡地区への移転には何の利点もない。移転は、税金の無駄遣いである。箱崎地区から元岡地区への移転時期が1年でも遅くなることを希望する。元岡地区への移転を取り止めることができれば、理想的である。移転時期がわからないので、民間業者による伊都キャンパス周辺の住居建設は、大きなリスクを伴う。

現在、伊都キャンパス周辺での宿舍建設予定がないと聞いていますが、薄給の事務職員にとって職員宿舎は必要不可欠です。また、小さな子供を抱える教職員は通勤時間を短縮し、子供との時間を大切にすることがあると思うので、大学近隣に宿舎を建設する必要があると思います。初期投資は必要なものの、結果として多数の教職員に支払う「通勤手当」「住宅手当」が長期に渡り軽減でき、大学経費の節減にもつながると思います。

現在、新キャンパスへの通勤のための公共交通手段が全く整備されておらず、通勤自体がイメージできません。交通網等の将来計画などを早く示して欲しいものです。

個人的には、駐車場つき、2階以上（安全面考慮のため）、大学へは極端に近すぎない程度の距離、単身者であるが家賃が安いと聞いているので1LDKあたりの部屋（現状は1K）を念頭においています。

個人的には関心がない。ただこのような調査はもう少し早い段階で行われるべきでは。

交通手段を車に頼ることが多く、駐車が2台可能なこと。

交通網が整備され、天神等のアクセルのさらなるよくなれば、伊都キャンパス周辺への住み替えを考えたいと思っている。

交番、消防署などの公共サービスを含めた町作りを期待します。また、廉価で入居（借用）できる職員住宅を、鉄道沿線に作った方がよい。

公共交通機関による新キャンパスへの移動手段を出来るだけ早く充実できるよう努力して欲しい。特に夜10時、11時に移動するような場合も、十分ケアすべきである。一方、自家用車を使った通勤、通学などは地域への環境問題などを考えれば、大学としては出来るだけ避けるよう努力しないといけないのではないだろうか。

広くて家賃が安いのはもちろん歓迎するが、車の通りが多い道路から離れていけばなお歓迎である。

郊外への移転ですから、静寂に安心して住める住居が提供されることを期待します。

高速ブロードバンド通信の完備、ある程度のセキュリティ確保、ハザードマップの開示、車が無くても普通に生活できる事。リサイクルゴミ回収システム（古紙回収など）が児童活動に頼らない形で機能している事

今のところ住み替える予定はないが、キャンパス移転自体が終了するのが10年以上先のことなのでまだわからない。そのころには伊都キャンパスで働く教職員が膨大な数になることが予想されるので、住居建設に関しては幅広い家賃形態や、多様な家族構成（単身・夫婦・子供の数・2世帯同居など）に合わせて、より多くの選択肢が用意されることが望ましい。また、現在糸島地区には幼児保育施設の数に限られており、極端に少ない幼稚園・保育園はどこも過密状態なので、今後大量に教職員が移転に伴い移り住むのならば、キャンパス内・または近辺に教職員用の育児施設の建設も必要と思われる。

今後人が増えるだろうから、住居はアパート・マンションを多く建てる必要があると思います。また、大学周辺には今のところ何もない状態ですので、住居のみでなく、スーパー・コンビニ・娯楽施設等が増えれば、発展していったりより多くの人々が住むことになると思うし、大学も人が減らずにすむのではないかと思います。

子どもの教育環境がどのようなものになるかが未知数ですので簡単に移住するのは難しいです、また、文系地区の移転はさらに約10年後で遅れることも考えられるため、移住に関して現実味がありません。

市内からの交通の便がいかがなものかと心配しておりましたが、職員の場合、情報によると大丈夫かなと思っています。ただ、仕事の関係で、帰宅が遅くなるような時に宿泊施設が学内にあるといいと思います。学生さんは自転車、バイク通学が普通になるのでは聞いていますが、職員の場合、今住んでいる所を移転するのはなかなか大変だと思う。

私自身は、月曜・火曜と2泊し、水曜は自宅に戻り、また木曜・金曜と2泊できるような簡易住居が借りられればと思っています。

私自身は、住居を移転しませんが、できるかぎり低廉な価格でアパート等を建設していただくよう地元の方と折衝されるようお願いいたします。

事務職員は短期間で異動があり、特定のキャンパスで仕事を続けられるわけではないので、仮に今秋に伊都キャンパス勤務となった場合でも、伊都キャンパス周辺住居について、特に希望はありません。

治安がよいこと。道路事情がよいこと。

自然が豊かで、駅やバス停に近く、教育施設や商店などが近くにあり、安全で安心して快適な日常生活がおくれる住宅地区を希望します。また、モデル住宅として世界に誇れるような学園都市建設をお願いします。

自転車等の環境負担の少ない輸送が可能な範囲で住宅地域を設定してはどうか。

周辺にお店（スーパー、コンビニ、カフェ等）ができれば、住居の変更も考えますが、住居のみが充実してもすぐには住み替えようとは思いません。人が住まなければ、周辺への店の出店はありえないのでしょうか。

周辺環境の保持を意識して、住環境として整理された居住区画や、住面積対自然面積のバランスを考慮した開発を望む。区画内になんでも有りの（戸建てやマンションの入り乱れた）雑然とした町にならないようにしてほしいかがでしょうか（市との協議が必要ですが・・・）

周辺地域と隔絶された感じを与えるのではなく、違和感なくとけ込むことのできるインフラと人的交流を促進してもらいたい。九大が来るということで、歓迎する反面、不安を抱く人々が多いとの話を多々聞くので...

就学児童がいる家庭は、小学校、中学校に近く、買い物にも便利な所に住みたいと思われるのではないのでしょうか。また、通学路の安全性が確保されていることも必要と思います。

住み替えの条件としては、以下のとおりです。住居の周囲に営業時間が、深夜に及ぶスーパーマーケットがある 周辺に健康増進のための総合運動公園等があること。バス路線及びダイヤが充実していること。

住み替えは考えておりませんので、特にございません。

住環境のみならず、一人暮らしには飲食に関する環境も重要です。

住居よりも交通や周辺施設を整備してほしい。また、西地区の公務員宿舎は移転時期の早い人が優先的に入居できるようにしてほしい。

住居地区の周辺に、飲食店やスーパーなどの商業施設があればいいなと思います。

住宅以外の生活に必要な設備、商店、コンビニ、保育園、小学校等の生活に不可欠な設備はどうなるのか見えない。福岡市などから情報をアピールしていただけないものだろうか？特に保育園、小学校など急激に受け入れ人数が増すと対応不可能な施設もある。

情報を提供してほしいと思います。このようなアンケートは大賛成です。

職員のためには公務員宿舎の増設を、学生のためには学生寮など低価で居住できるものの建設を進めるべきだと思います。

新キャンパスとの接続が良い場所に学生向けのアパートを設置下さい。学生あつての大学です。

新キャンパス開校後、そこへの交通手段がどのようになるのか、既存のキャンパスへの通勤状況がどのようになるかが現在のところ不明ですので、移住の場所や時期、形態については正直申しまして決めかねております。転居については財政面や活力において大きな個人的負担が生じます。移転関係者に対する、優良な物件の探索や通勤、他のキャンパスへの移動などについて、積極的な支援と整備をお願いいたします。さもなければ新キャンパス移転について否定的な雰囲気学内を覆うことになるのでは、また大学の活力低下に繋がりがかねないと、強く危惧いたしております。

新キャンパス近くの志摩町に居住して13年程になります。今後の10年以上にわたる移転の年次進行計画からは私の部局が在職中は新キャンパスへ来ることがない事、3年後には六本松から箱崎へと逆に遠くなるのが残念です。居住して感じるのは交通手段が自家用車以外はあまりないこと、特に筑肥線までのアクセスを改善することが必要です。またキャンパス空間としてある程度閉じた生活空間を作るとするとそれなりに学生を引きつける店や書店などの施設を充実する事が是非必要です。

新キャンパス周辺の交通事情については少なくとも当分はあまり良くないと考えられますので自動車での通勤を考えています。その際、通勤時間の短縮や疲労軽減の観点から福岡都市高速を利用したいと思いますが、是非、高速のチケット代を支給して頂きたく希望します。また、距離が長くなりますのでガソリン代や自動車の減価償却費なども実費相当の支給をお願い致します。

新しい自然環境を活かして、住みやすく利便性があり(公共施設や日常生活に必要な商業施設)、散歩して楽しくなる住居群を造ってほしい。

新駅から伊都キャンパスまでのアクセスを安く便利にすれば良い。既に新興住宅地として前原があるので、伊都周辺で新たな町ができるとは考えにくい。学生達だけで町が形成させるとも思えない。例え、学研都市として新たな町がつくられても、20年~50年先の話だと思うので、長い視野にたった開発が望まれる。学生のためには、寮を多数キャンパス内に作るべき。学生が常にキャンパスにいてこそ、大学となる。

人事異動で職場が伊都キャンパスになった場合、持家のため家族で転居ということ考えていないが、通勤はかなり困難になるので職場近くに単身用(1ルーム)の宿舎があれば入居したいと思う。

人文の移転はかなり先のことですので、それ以前の方々の動向を見た上で、ゆっくり考えたいと思っています。

正直なところ、僻地へ引っ越すこととなりますので、それ相応の福利厚生を期待します。とりあえず、部局の引越しとともに、寄宿舍を建築してください。工学研究院と農学研究院では、15年以上の時間差があり、この15年間の生活様式もろもろ社会通念に応じた対応をおねがいします。問20についてですが、通信環境や駐車場は、常識だとかんがえますが、私などが考えるよりも大層な通信環境や駐車場を想定されているのでしょうか？

耐震性・免震性を備えた巨大な集合住宅を建設して学生及び教職員の住居を確保し、農地、山地等の環境破壊を最低限にしていた
きたい。キャンパス周辺(数10km)での一戸建てなどの建設を規制する条例等を設けるよう自治体に働きかけていただきたい。

大学までの通勤環境などが全く不明なため、検討しがたい。第一期の状況を見てから判断することになると思う。

大学教職員用宿舎を是非つくってほしい。

大学内での緊急事態に対応しやすくするため、キャンパスにアクセスしやすいところ(隣接している、など)に住居がほしい。

単身者用の簡便で、安価なアパートがあれば便利である(週日に利用し、週末は自宅に帰る)。

単身者用マンション(ウィークリーマンションのような・1DKかワンルーム・食事付き・格安で!!)があると、良いのでは。
キャンパス内に構えていただくと、利用者はきっといるはず。家族での移住は難しいので、その方が単身赴任するにも便利だ
と考えます。伊都キャンパスへの通勤は困難です・・・

単身赴任にしないといけないうちかもしれません。このため、単身赴任用の住居があれば、便利です。どこに住むかは、駅とキャンパ
スの間のバスの便が大きな鍵だと考えています。

住民との交流がしやすい環境整備が必要だと思ふ。

駐車スペースを確保してほしい。

駐車場の空間が欲しいです

通勤のための交通手段がどの程度充実するかが、重要な意味を持っていると思いますが。

通勤経路が、暗い、人通りがなくさびしいところには、あまり住みたいと思わない。夜間、街灯などで、キャンパス周辺地域に十
分な明るさが確保されることを期待したい。

通信設備(光ファイバ、CATV、およびそれらの管路を含む)を充実させてほしい。

鉄道の駅からの公共交通機関(バス or キャンパス用バス)を充実して欲しい。無理ならば、駐車場を沢山整備して欲しい。

転職・転勤が十分考えられるので、ネコ(部屋住み)が飼える賃貸マンションが最適。今までは通勤時の交通渋滞がない場所が最
も利便を感じたので、田舎で周囲の通勤車の流れと逆方向になる場所がよいかと思っている。ただし、以下の地域・場所・物件は避
ける()内はその理由。すさまじい地域(子供の教育) 開発が進行中の地域(地元とのトラブルや騒音・埃など)、鉄道、幹線道路
沿い(騒音・振動) 背後急傾斜地(豪雨時のかけ崩れ) 北および西に開けた場所(冬季の季節風) 優良農地周辺(濃糞散布) 軽
量鉄骨アパート(騒音) 最終的には、大家さんの人柄、不動産業者の管理素行を重視する(防火意識、受水槽清掃頻度など) 以上
道路沿いの建設は、望ましくないと思われます。道路沿いには、商店(ス・パ・等)等のサ・ビス業を並べ、その奥に居住施設を
配置することで、道路からの景観を確保でき、子供の飛び出し事故を防止するとともに、車等の騒音も気にならず、快適な生活を送
ることが出来ると考えられます。

特にイメージがわかりませんので、現時点で回答できません。

特に住居だけに限らず、交通の便を図らないと、学生も研究者も集まらないのでは。

年寄いた親の面倒を見ているため、病院をはじめとする生活環境の利便性が良い都心部にしか住めない。

博多駅から新キャンパスへの直通のバスを出してほしい。また、それが実現しそうであれば、どの程度時間がかかるのかを教えて
ほしい。

比較的簡易な宿泊施設があれば助かります。

必ずしも皆が周辺に移り住むことはできませんので、交通の便をできるだけよくしていただきたいです。

必要時に宿泊できる宿舎(ビジネスホテル仕様・格安料金)を用意してほしい。朝早い講義とうに前泊するとかを考えています。

福岡市からだけでなく前原市から新キャンパスへの交通アクセスも充実してほしい。

壁厚など、住宅整備公団の規格以上の建物。駐車場は必需設備。

防犯に配慮した建物・町並みを心がけていただきたいと思ふ。

姪浜、西新等からバスを出してほしい。

乱開発を防ぐために、ゾーニング・都市計画をしっかりと、良質の町並みを作ってほしい。

自由記述への回答

アンケートにご回答頂き、ありがとうございました。ここで、自由記述に書かれた内容に関してご説明します。

(アンケートについて)

これまで、学生アンケートを3回、教職員アンケートを1回実施し、学生および教職員のライフスタイルや意向の把握に努めてきました。また、紹介キャンペーン、様々な説明会等でも直接ご意見をいただけてきました。これらのご意見は、新キャンパス計画専門委員会につくられた課題毎の様々なワーキンググループで検討を重ね、合意に至ったものから順次実施に移しています。さらに、アンケート結果をホームページに公開するなど、情報の提供にもつとめています。工学系に続く移転グループのためにも、今回のようなアンケート調査を継続して実施する予定です。

(拠点づくり、学研都市づくりを進めます)

自然との調和を図る、通信環境の整備など、いただいたご意見を参考にして、環境と共生する世界的な学術研究拠点、九州大学のキャンパスづくりを進めます。また、経済界、福岡県、福岡市、前原市、志摩町、二丈町等とで構成する九州大学学術研究都市推進協議会および財団法人九州大学学術研究都市推進機構とともに、大学周辺と一体的な学術研究都市づくりを進めています。

(短期滞在用の施設整備を民間事業者に働きかけます。学生用の仮眠室を準備します)

短期滞在用施設整備のご希望が多く寄せられました。アンケート結果をもとに、キャンパス内に計画している短期滞在用施設の検討を進めるとともに、キャンパス周辺における立地についても民間事業者に働きかけを行います。移転過渡期には、学生用の仮眠室を設けることとしています。

(交通インフラ整備とバス運用開始)

202号バイパスの開通とともに交通事情もよくなり、渋滞がなければ都心から伊都キャンパスに30分程度で到着できるようになりました。昭和バスはJR九大学研都市駅 - 伊都キャンパス工学系地区バス停間を43.5往復、西鉄バスは、博多駅・天神 - 伊都キャンパス間を直通で約30往復、早朝から深夜まで運行する予定です。また、西鉄バスでは、伊都キャンパスまでの路線でエコルカードが使えるようになりました。さらに、第1期の段階から、駐車場1,000台分や駐輪場を確保するなど、キャンパス内の交通インフラの整備を行っています。

(福利厚生充実)

福利厚生の充実は、大学キャンパスの魅力形成にとって重要であり、移転開始から暖かい食事を提供し、売店を充実するなど、関係者との調整、整備を進めています。

(関連イベントの開催)

「九州大学伊都キャンパス誕生年」を記念し、天神でのフェア、記念シンポジウム、周辺住民の皆さんによる花火大会などの様々な催しを、地元商工会、財団法人九州大学学術研究都市推進機構と九州大学で企画中です。

(情報開示のしくみ)

移転に関する情報は、各部局の新キャンパス計画専門委員会委員を通じて報告されることになっており、また、本学のホームページから、伊都キャンパスの計画や会議の状況、および実施に関する情報は可能な限り開示し、得られるようにしています。どうしてもわからないことは、九大の意見箱にお聞き頂ければ回答いたしますのでご活用ください。今後も皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

九州大学ホームページ <http://www.kyushu-u.ac.jp/top.php>

九州大学新キャンパス計画推進室ホームページ <http://www.suisin.kyushu-u.ac.jp/>

九州大学新キャンパス計画推進室ホームページ資料集 <http://www.suisin.kyushu-u.ac.jp/archive/index.html>

財団法人九州大学学術研究都市推進推進機構ホームページ <http://www.opack.jp/>